

令和7年4月25日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ミ ク ニ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 生 田 久 貴
(コード：7247 東証スタンダード)
問 合 せ 先 責 任 者 取 締 役 常 務 執 行 役 員
コーポレート本部長 藤森 聡
(TEL. 03-3833-0532)

業績予想の修正ならびに特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ令和7年2月10日に公表いたしました令和7年3月期の業績予想につきまして、以下のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

令和7年3月期 通期連結業績予想の修正（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

単位：百万円

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前 回 発 表 予 想 (A)	100,000	2,500	2,000	1,000	29.71
今 回 修 正 予 想 (B)	102,000	3,000	2,900	2,200	65.35
増 減 額 (B - A)	2,000	500	900	1,200	—
増 減 率 (%)	2%	20%	45%	120%	—
(ご参考) 前期実績 (令和6年3月期通期)	99,941	3,672	3,161	1,115	33.19

(業績予想修正の理由)

当社の主力であるモビリティ事業にて、インドを中心に期末需要が想定以上に伸びたことに加えて取引価格の適正化が実現したこと、また、主要通貨が想定よりも円安に推移し商社事業の収益改善が進んだことから、通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

特別利益及び損失においては、投資有価証券の売却による特別利益として20億円、後述の減損損失による特別損失として18億円を計上する予定です。

なお、配当予想に変更はございません。

(特別損失計上の理由)

当社が保有する一部の固定資産について、現在の事業環境を踏まえて将来の回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損損失を計上する見込みです。この減損処理に伴う特別損失は連結決算で18億円、単体決算で6億円を予定しています。親会社のほか、中国子会社にて減損損失を計上する予定です。

以上